PATENT COOPERATION TREATY

PCT

INTERNATIONAL PRELIMINARY REPORT ON PATENTABILITY

(Chapter I of the Patent Cooperation Treaty)

(PCT Rule 44bis)

See item 4 below

Priority date (day/month/year)
08 October 2004 (08.10.2004)

FOR FURTHER ACTION

International filing date (day/month/year) 30 September 2005 (30.09.2005)

International Patent Classification (8th edition unless older edition indicated) See relevant information in Form PCT/ISA/237						
Applicant MATSUSHITA ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD.						
	. This international preliminary report on patentability (Chapter I) is issued by the International Bureau on behalf of the International Searching Authority under Rule 44 bis.1(a).					
2. This REPORT consists of a total of 4 sheets, including this cover sheet.						
In the attached sheets, any reference to the written opinion of the International Searching Authority should be read as a reference to the international preliminary report on patentability (Chapter I) instead.						
3. This report contains indications relating to the following	ng items:					
Box No. I Basis of the report						
Box No. II Priority						
Box No. III Non-establishment applicability						
Box No. IV Lack of unity of in-	vention					
	Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement					
Box No. VI Certain documents	Box No. VI Certain documents cited					
Box No. VII Certain defects in the	he international application					
Box No. VIII Certain observation	ns on the international application					
4. The International Bureau will communicate this report to designated Offices in accordance with Rules 44bis.3(c) and 93bis.1 but not, except where the applicant makes an express request under Article 23(2), before the expiration of 30 months from the priority date (Rule 44bis.2).						
	Date of issuance of this report 11 April 2007 (11.04.2007)					
The International Bureau of WIPO	Authorized officer					
34, chemin des Colombettes 1211 Geneva 20, Switzerland	Yoshiko Kuwahara					
Facsimile No. +41 22 338 82 70	e-mail: pt07.pct@wipo.int					

Form PCT/IB/373 (January 2004)

Applicant's or agent's file reference P040308P0

International application No. PCT/JP2005/018109

特許協力条約

発信人 日本国特許庁(国際調査機関) REC'D 2 2 DEC 2005 代理人 PCT WIPO 岩橋 文雄 PCT あて名 国際調査機関の見解費 〒571-8501 (法施行規則第40条の2) 大阪府門真市大字門真1006番地 [PCT規則43の2.1] 松下電器產業株式会社內 発送日 20. 12. 2005 (日.月.年) 出願人又は代理人 今後の手続きについては、下記2を参照すること。 の書類記号 P040308P0 優先日 国際出願日 国際出願番号 30.09.2005 (日.月.年) 08. 10. 2004 PCT/JP2005/018109 (日.月.年) 国際特許分類 (IPC) Int.Cl. HO5K3/46 (2006.01) 出願人(氏名又は名称) 松下電器產業株式会社 1. この見解審は次の内容を含む。 区 第1欄 見解の基礎 第Ⅱ欄 優先権 第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成 □ 第IV欄 発明の単一性の欠如 第V欄 PCT規則 43 の 2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、 それを裏付けるための文献及び説明 □ 第VI欄 ある種の引用文献 □ 第VI欄 国際出願の不備 □ 第四個 国際出願に対する意見 2. 今後の手続き 国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国 際予備審査機関がPCT規則 66.1 の 2(b) の規定に基づいて国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみな さない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。 この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日か ら3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当 な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。 さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。 3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。 見解告を作成した日 08:12.2005 3 S 9527 特許庁審査官(権限のある職員) 名称及びあて先 日本国特許庁(ISA/JP) 黒石 孝志 郵便番号100-8915 電話番号 03-3581-1101 内線 3391 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

国際調査機関の見解む

国際出願番号 PCT/JP2005/018109

第 I 桐 見解の基礎	第 I 欄 見解の基礎						
1. 冒語に関し、この見解 書は以下のものに基づき作成した。							
出願時の言語から国際調査のための言語である 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))							
2. この国際出願で開示されかつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 以下に基づき見解書を作成した。							
a. タイプ		配列表					
-		配列表に関連するテーブル					
b. フォーマット		紙形式					
		電子形式					
c.提出時期		出願時の国際出願に含まれていたもの					
		この国際出願と共に電子形式により提出されたもの					
		出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出されたもの					
3. □ さらに、配列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。							
4. 補足意見:							
		•					
1		•					

国際調査機関の見解告

国際出願番号 PCT/JP2005/018109

第V棡 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についてのPCT規則 43 の 2.1(a)(i)に定める見解、 それを 双付る文献及び説 明							
	1. 見解						
	新規性(N)	請求の範囲 …	1-14	有 無			
•	進歩性(IS)	請求の範囲 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	1-14	有 無			
	産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 請求の範囲	1-14	有 無			

2. 文献及び説明

文献1:JP 11-251703 A(松下電器産業株式会社)

17.09.1999

文献 2: JP 2001-326458 A (松下電器産業株式会社)

22. 11. 2001

文献3:JP 6-169172 A (富士通株式会社) 14.06.1994

請求の範囲1-14に係る発明は、国際調査報告に引用されたいずれの文献にも記載されておらず、当業者にとって自明なものでもない。